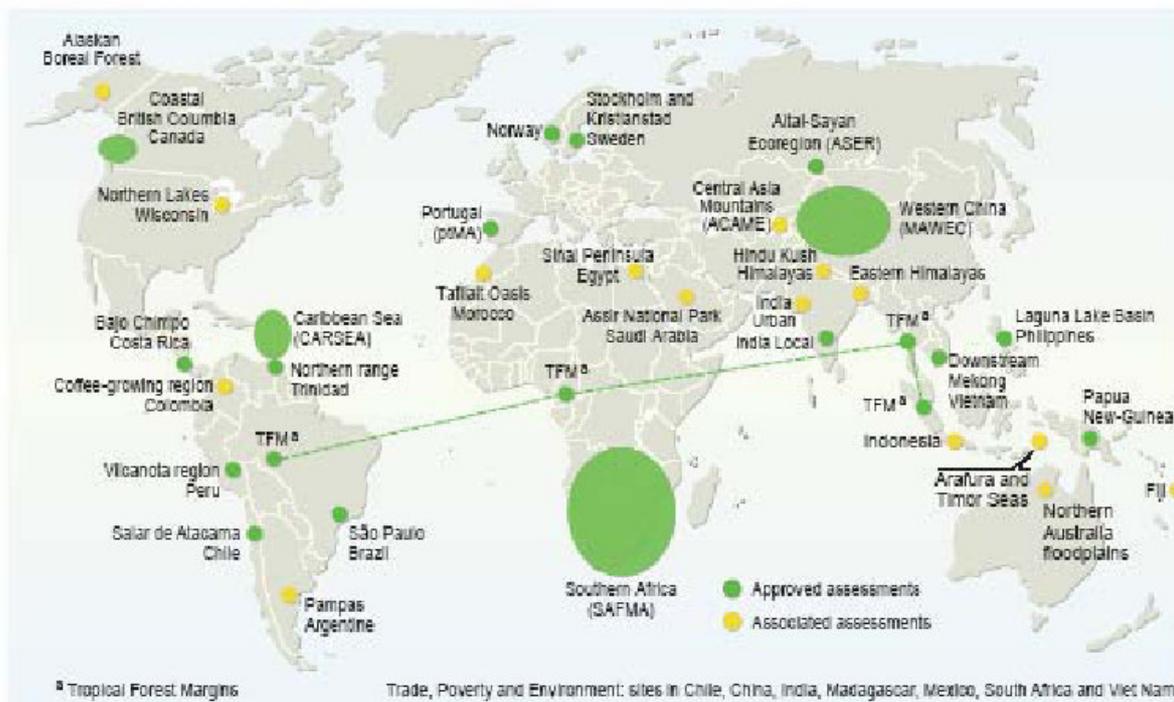


評価プロセス

MA は国際条約、国連機関、科学組織、民間部門、市民社会、先住民組織のリーダーから構成される理事会によって管理されている。世界の主導的な社会及び自然学者からなる評価パネル（13人のメンバーからなる）とレビュー委員会は、ヨーロッパ、南北アメリカ、アジア、アフリカに事務所をもつ事務局による支援を受け、また、国連環境計画(UNEP) による調整を受けながら、評価の技術的作業を監督している。

MA はローカル、水系、国、地域及び地球規模で行われている評価を連結したものである「マルチスケール」評価として行われた。サブグローバル評価は、政策決定者のニーズを満たすように、また、地球規模での見解が現場での現実により強化され、他方、ローカルレベルでの見解が地球規模の観点、データ、モデルにより強化されるようにデザインされている。17の MA で承認されたサブグローバル評価と、これに準じる 13 の評価が行われた。

Sub-Global Assessments



予算および出資者

4年におよぶ MA の予算はおよそ 1700 万ドルであり、これに加えて 7 百万ドル以上の現物による貢献 (in kinds contribution) があつた。MA への主な出資者は地球環境ファシリティー (GEF)、国連基金、デイビッド&ルシール・パッカード財団、世界銀行、国連環境計画、ノルウェー政府、サウジアラビア王国である。資金供与者の完全な表は MA ウェブサイトに掲載されている。

www.MAweb.org